

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会  
第20回議事要旨(案)

- 1 開催日時 平成22年10月27日(水) 15:30~17:40
- 2 開催場所 ホテル (東陽町)イースト21 3階 永代の間
- 3 出席者 中杉委員長、石川委員、岩崎委員、織委員、風祭委員、川名委員、木下委員、佐古委員、竹内委員、谷川委員、中沢委員、細野委員、村山委員
- 4 議 事〈公 開〉

議事1「東京PCB廃棄物処理施設の操業状況(平成22年度上半期)について」

事務局から、資料1に基づき、施設の操業状況、環境測定結果、運転および設備における対策・改善、作業従事者の労働安全衛生、トラブル発生状況、ヤリハット等について説明。主な質疑、意見は以下のとおり。(JESCO)はJESCOの回答。

○防災訓練等について

・いざという場合に役立つ防災組織を組み立てていただきたい。人材教育・育成が一番大事である。

○水熱分解設備処理液中のクロム濃度管理について

・排水中のクロム濃度管理については、腐食内容(全体腐食・局部腐食等)まではわからないから一つの参考値として取り扱うこと。

○産業廃棄物の処理委託先業者について

- ・(JESCO)入札で処分先を決めており、現時点ではスーパーエコタウン内の業者への委託処分はない。
- ・(JESCO)委託処分先の現地確認は全処分先を対象として行なっている。

○活性炭汚泥(廃棄物)の最終処分方法は

・(JESCO)活性炭汚泥はセメント業者にて熱源利用されると同時にセメント原料としており、埋め立て処分はしていない。

○設計図と施工の違いにおける責任について

- ・業者責任を明確にして修補させ、JESCOは検査を怠らないこと。

○施設見学者の質問など

・施設見学者数、質問内容、意見などについて、市民にわかりやすい形でアピールされたい。

○作業員の経験年数を示されたい

- ・(JESCO)大体3年程度の経験年数、平均年齢は50歳以下。

○ヒューマンエラー

・出入りの業者についての安全管理をはかること。類似のトラブルが起こるのではないかとという目で、見ていくことが重要である。

○処理能力

安定的な処理を継続させるためには、トラブルの未然防止、トラブル後の早期回復等の守備能力を高めることが重要である。